

4年ぶりに開催！志木の夏の風物詩「民踊流し」

志木市観光協会（会長：星野博之）では、敷島神社祭典にあわせ、総勢220人が80メートルの列となり、本町通り約800メートルを盛大に踊り流します。

4年ぶりの開催となる今回は、市内の婦人会をはじめとした地域の皆さんが、年に一度の晴れ舞台に向けて行ってきた練習の成果を披露します。

1 日時

令和5年7月22日（土） 19時30分～21時（雨天中止）

2 場所

県道保谷・志木線「本町通り」（本町1丁目から5丁目）

3 参加団体・舞踊曲

参加団体 9団体（約220人）

舞踊曲 志木音頭、志木おどり

4 その他

民踊流しは、町内会、商工会、連合婦人会、文化協会など、多くの関係機関・団体の協力のもと、昭和48年から続く志木市の夏の恒例行事です。

また、郷土の踊音楽として「志木音頭」と「志木おどり」を、後世に引き継ぐ催しとなり、今回で49回目を迎えます。



記者発表資料

令和5年7月19日

市民生活部産業観光課

商工労政グループ

担当者／主事 渡辺 桃子

電話番号／048-475-7360

志 木 市